

1 本年度の学校教育目標

「ふるさとを愛し 自ら学び 未来に向かって挑戦する養父っ子の育成」

2 本年度の学校重点目標

- (1) 夢や目標に向かって、主体的に挑戦する態度を育成する。
- (2) 「生きる力」を育む教育を推進する。
- (3) 子ども達の学びを支える仕組みを確立する。
- (4) 学校・家庭・地域が連携し、ふるさとを愛する心を育てる。
- (5) 教職員としての資質能力の向上を図るとともに、業務改善を推進する。

3 学校自己評価結果 (A 優れている B 良い C おおむね良好 D 要改善) 太字は改善方策です

分野	評価項目・取組内容	達成状況	学校の取組状況・改善の方策
開かれた 学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全で美しい学校づくりに取り組む。 家庭・地域への情報発信に努め、家庭・地域から信頼される学校づくりに取り組んでいる。 地域の人材、自然、史跡等を教育活動に活用し、ふるさと教育に力を入れている。 関係機関と連携した指導にあたっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染対策をとりながら、自治協議会、PTA、地域の方々と連携して、授業、行事など取り組むことができた。(鯉料理体験、ホテル学習、町探検、牛市見学、グランドゴルフ大会、お手玉の会、園小連携など) 運動会、養父っ子DAYなど、工夫して内容を精選して行うことができた。 PTA奉仕作業では、PTAだけでなく、地域の方、区長さん方も一緒に作業していただき、オープンスクールなどで地域の方に足を運んでもらうきっかけとなった。今後も地域と共に創る学校を目指していく。
基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本を徹底する指導を工夫している。 児童の実態にあった個別指導をしている。 「そうあんくんの日」における自律・自立への取組を行っている。 ドリルタイム、養父っ子ががんばりタイムを活用し、自ら力を伸ばそうとする意欲を高めている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 新学習システム、専科等を生かし、専門性の高い指導、個に応じたきめ細やかな指導の充実を図った。 ドリルタイム、養父っ子ががんばりタイムを充実させ、補充学習の推進に努めた。 研修を中心として指導方法の改善に努め、わかりやすい授業づくりを推進した。 月2回の「そうあんくんの日」を集中して取り組むことにより、自律の心が育成されてきている。
主体的、 創造的な力	<ul style="list-style-type: none"> 体験的学習、問題解決的学習を推進し、自ら考える力を育成している。 「対話的・主体的で深い学び」の視点での授業改善に努めている。 指導内容や方法を創意工夫し、興味・関心を高める授業をしている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ICT、「思考ツール」を活用した授業づくりを中心に研修に励み、対話的・主体的に学ぶ授業づくりを進め、効果が見られた。 「思考ツール」を活用し、論理的にまとめたり、伝えたりする力がついた。 さらに研鑽し、今後も児童の力を伸ばしていきたい。
道徳・ 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業時数を確保している。 道徳実践の場として、全領域を有効に利用し、指導している。 「対話」による授業づくりに努めている。 副教材や県副読本を有効に活用している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 人権作文の掲示、人権集会の開催など、児童が人権について考える機会を作り、積極的に人権について学んだ。 道徳の時間だけでなく、防災教育、キャリア教育等、学校生活すべてにおいて道徳教育・人権教育を推進できた。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 人間的なふれあいを大切に学級づくりを進める。 主体的な児童会活動や学級会活動に努める。 縦割り集団活動を通して、協力し合う人間関係づくりを進める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 運動会、児童会活動など、児童が中心となって活動を活性化することができ、自治力を高めることができた。 縦割り班活動により、協力、思いやりの心を育成し、人間関係作りを推進できた。 共に助け合える学級作りに励んだ。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 児童の内面理解を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 教職員の共通理解のもとで指導にあたっている。 家庭や関係機関と連携を図りながら指導にあたっている。 情報機器やネットワーク活用等のルールやマナー、安全な使い方を発達段階に応じて指導する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導、特別支援等の委員会を定期開催し、共通理解を図った。 特別支援学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、通級指導等、専門機関との連携による個別支援の推進を図った。 毎月アンケートを実施し、「いじめ対応チーム」により、早期発見、早期対応に努めた。 初動対応が遅れたり、保護者への丁寧な説明が足りなかった部分があった。今後はさらに教職員、保護者との連携を深め、児童理解に努めていく。
健康安全教育	<ul style="list-style-type: none"> 健康面から望ましい生活習慣を育成している。 地域と連携し、児童の健康安全を守るための体制づくりをしている。 食に対する興味・関心を高め、自立につなげる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が協力し、コロナ感染予防に努めた。 縄跳びや体幹を鍛えるメニューを取り入れた体育授業を行った。 健康安全についてはほけんだよりでの啓発を行った。 栄養教諭と連携をとり、栄養指導、マナー指導等を行った。 教職員の緊急時対応研修を実施し、適切な対応について技術向上を図った。 性教育週間を実施し、性に対する意識を高めた。 今後もさらに内容を充実させ、児童に、「自分の命は自分で守る」意識と安全な過ごし方を身につけさせたい。
教職員の 資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 研修テーマに沿って授業を大切に取組を行っている。 愛情と責任を持ち、心の通い合う学級づくりを推進し、いじめや体罰のない指導を行っている。 使命感と高い倫理観を有し、保護者、地域から信頼される教師を目指し、専門性と実践的指導力の向上に努めている。 「勤務時間の適正化」に努めている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 講師招聘研修を実施し、専門的知見から助言を受け、教職員の資質向上を図った。 各種研修会に積極的に参加した。 体罰、いじめ、人権等、常に情報交換と対応について協議の場を持つようにし、意識向上、資質向上に努めた。 保護者アンケートをWEB集計とし、職員の業務改善に努めた。 一人1台タブレットを活用し、個々への連絡、授業準備時間の短縮ができ、業務改善につながった。
小中一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> 校内で情報交流し、同一歩調で取り組む。 部会の取組を計画的に推進する。 聞く姿勢、話型、中学校登校など、学年部会の重点的な取組を充実させる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観や各部会会議の実施により、研修を深めることができた。 小中連携しての授業を展開し、充実した取組となった。 6年生中学校登校が計画的に実施でき、中1ギャップの緩和に努めることができた。 研修内容、方法を模索しながら、よりよい小中一貫教育を目指していく。

4 総合的な学校関係者評価

- たくさん行事や地域との交流が復活してきて、子どもたちも様々な体験を重ねることができた。
- タブレットでの学習が定着していて、よく学べていると思う。
- 子どもたちは明るく、気持ちのよいクラスの雰囲気であった。
- 施設、設備の修繕も進み、学習環境が整いつつあることは安心した。

5 評価項目ごとの学校関係者評価

学校自己評価の適切さ
<ul style="list-style-type: none"> 奉仕作業やグランドゴルフ大会等、参加した方が子どもたちと触れあえて楽しかった、学校に行けてとても良い時間だったと喜んでた。これからもオープンな学校で、地域の方が気軽に学校に来られるようにして欲しい。 小さい時から地域の方と交流を深めたり、地域を知ること、「これがふるさと。地元に戻ってきたい。」と思えるだろう。たくさんの交流ができて、いい機会となっている。 オープンスクールの受付を民生委員さんがしていた。学校に地域の方が関わってくださっていることがとても嬉しかった。 運動会などの大きな行事に地域が参加できるようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ドリルタイムなど毎日積み重ねることで、大きな力になると思う。 廊下の掲示板などで、1㎡などの模型が飾られていて、平日頃から感覚的につかむことができ、非常に良いと思った。他にも算数の公式や世界地図なども掲示すると効果的なのではないか。 ボランティアさんに授業に入って九九を聞いてもらうなど、よい取組だ。 そうあんくんの日の取組(冬休みお手伝い大作戦など)は、しっかりと頑張っている児童や家庭があって、いいことだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> タブレットを使いこなしている。 堂々と発表している姿が印象的だった。 子どもたちが楽しく、真剣に学習していた。
<ul style="list-style-type: none"> 小学生のうちから、親子の会話をたくさんしていくべきだと思う。 悪いことは悪い、おかしいことはおかしいと感じられる心を育てるのが小学校の教育だ。そのような心が育っていると思う。
<ul style="list-style-type: none"> 児童が活躍できている。
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人、よく見ていただいている。先生方はよく頑張っていると思うので、家庭も協力したい。 いじめを見て見ぬふりしないようお願いしたい。 タブレットを使うからこそ、見えなところのトラブル、いじめが心配だ。ルールやマナーを指導して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 登下校の際の見守りは、できる時に、できるようにしていく。地域も協力する。 養父市の給食はよい。
<ul style="list-style-type: none"> タブレットが入ってきて、教師の技術向上が大変だろうが、しっかりと指導されている。先生もしっかり研修しているとのことで安心だ。 生活環境の良さによる指導範囲の拡大、従来とはくらべられないほどの多種多様な対応に、先生方がご苦労されていることと思う。養父っ子の育成、がんばってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 中1ギャップの緩和ができてきているようで、安心した。